

# 平成25年度 指定管理業務評価結果書

## 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	中島病院旧本館（呼称：城西浪漫館）
(2) 指定管理者	所在地 岡山市北区表町一丁目1-40 名称 ㈱内外総合通信社 代表者 代表取締役 延原 誠
(3) 公の施設の所管部署	都市建設部歴史まちづくり推進室
(4) 指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成27年3月31日
(5) 評価対象期間	平成25年4月1日 ~ 平成26年3月31日

## 2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	平成25年度実績	対24年度	平成24年度実績	対23年度	平成23年度実績
	来館者数 7,339人 （男性 3,444人） （女性 3,895人） 喫茶利用者数 4,198人	15人 73人 -58人 -508人	来館者数 7,324人 （男性 3,371人） （女性 3,953人） 喫茶利用者数 4,706人	-410人 -59人 -351人 231人	来館者数 7,734人 （男性 3,430人） （女性 4,304人） 喫茶利用者数 4,475人
(2) 事業の内容	開館業務、貸館業務、喫茶室運営業務、自主事業〔美作建国1300年おもてなしランチ、GW目前婚活パーティー、お花見ランチ、端午の節句祝いと津山藩士古文書展、若手女性アーティストによる3人展、布ぞうり展、城西まち歩き、ステンドグラス教室、日本ダウン症協会中国ブロック大会イベント、天守閣・備中櫓眺望ランチ、榕菴珈琲無料試飲会、津山城西まるごと博物館フェア（レトロ市場・小学生絵画展）、徳守祭だんじり衣装展、宵のまち歩き、美作国大茶華会、X'masランチ、甘酒無料配布、津山祭町「奴さん」写真展、希望ヶ丘ホスピタルの仲間たちによるロールアート展、今村信悟ライブ、吉田雅則と画家・角田歌一コラボ展 など〕				

## 3 収支の状況

(1) 収入 （指定管理者の収入）	平成25年度実績	対24年度	平成24年度実績	対23年度	平成23年度実績
	総額 8,000千円	710千円	総額 7,290千円	-2,132千円	総額 9,422千円
内訳	内訳		内訳		内訳
指定管理料	2,400千円	千円	2,400千円	千円	2,400千円
利用料金	97千円	54千円	43千円	-5千円	48千円
喫茶売上	3,345千円	918千円	2,427千円	352千円	2,075千円
自主事業（参加者負担金）	198千円	-46千円	244千円	169千円	75千円
雑収入（物販ほか）	961千円	60千円	901千円	883千円	18千円
自社負担金	999千円	-276千円	1,275千円	-3,531千円	4,806千円
(2) 支出 （指定管理者の支出）	平成25年度実績	対24年度	平成24年度実績	対23年度	平成23年度実績
	総額 8,000千円	710千円	総額 7,290千円	-2,132千円	総額 9,422千円
内訳	内訳		内訳		内訳
人件費	5,181千円	-112千円	5,293千円	-1,197千円	6,490千円
消耗費	109千円	-85千円	194千円	16千円	178千円
光熱水費	419千円	58千円	361千円	-1千円	362千円
通信費	100千円	-20千円	120千円	-18千円	138千円
警備委託	101千円	千円	101千円	千円	101千円
備品費	165千円	10千円	155千円	5千円	150千円
研修費	185千円	105千円	80千円	千円	80千円
会費等	29千円	5千円	24千円	-14千円	38千円
喫茶仕入（4月～3月）	1,431千円	589千円	842千円	182千円	660千円
自主事業費	280千円	160千円	120千円	20千円	100千円
その他（サーバ保守管理等）	千円	千円	千円	-1,125千円	1,125千円

## 4 総合評価結果

(1) アンケート調査等	平成25年4月1日から平成25年4月15日までアンケート調査を実施し、33名から回答。
(2) 指定管理者の自己評価	地域の情報発信拠点施設として地域の歴史と文化に重点を置いた展示企画を立て、特に地域の人にスポットを当てる自主事業などに積極的に取り組んだ。その結果、津山洋学資料館などの連携回数も増え、展示のさらなる充実が図れた。年間の入館者数は前年比増、喫茶利用者も前年度並みを維持したほか、当館の開発したコーヒーの土産・ギフト商品を津山観光協会と連携して、観光センターなどで販売した結果、観光客への知名度がアップし、喫茶の売上は前年比増となった。婚活事業も回数を増やし若者層への認知度アップや利用増を図った。また、経費削減に積極的に取り組み、本社負担金（赤字）の解消を目指したが僅かに届かなかった。次年度は単年黒字を実現したい。
(3) 市の評価	毎月特色ある自主事業を実施し、新聞等のメディアに度々取り上げられたり、毎日ホームページを更新したりするなど、広報活動に積極的に取り組み、施設の知名度向上に大きく貢献している。また、キッズフリマの開催や城西まるごと博物館フェアへの参加など、地域と一体となって行うイベントは恒例行事となっており、施設の利用促進にも効果をあげている。地域住民やNPO法人、洋学資料館などの公共機関との連携が十分図られていることは、大変評価でき今後とも継続していただきたい。 利用者からの意見収集については、イベントごとのアンケート調査の実施やホームページを活用するなど工夫し、事業推進に反映させてもらいたい。 収支については、前年度と比較し、喫茶売上や物販収入の増加などにより改善され、大変努力をしていることはうかがえるが、自己評価においても単年度黒字化を目標としており、管理運営の更なる効率化と改善を期待したい。 なお、平成26年5月29日に開催された審査委員会においても、業務内容に関しておおむね良好であるとの審査結果であった。